



医学教育の今!

グローバルスタンダードに基づく医学教育評価(1)

日本医学教育評価機構

な ら のぶ お
奈 良 信 雄

Nobuo NARA

要旨

- ・2010年のアメリカ ECFMG 通告を機に、2015年12月1日に日本医学教育評価機構(JACME)が設立された。
- ・JACMEは世界医学教育連盟が策定しているグローバルスタンダードに基づき、全国82医学部における教育プログラムを評価している。
- ・2024年10月現在、全医学部の1巡目評価は終了し、2巡目の評価が進められている。
- ・JACMEの評価は、ECFMG 通告に適合するだけでなく、医学教育評価を通じて、わが国医学部教育の質改善・向上を目指している。

はじめに

医学・医療の国際化の推進に伴い、医師を養成する医学教育は国際標準であることが求められる。おりしも2010年9月にアメリカ ECFMG (Educational Commission for Foreign Medical Graduates: 外国医師卒業後教育委員会) から「アメリカでの医師臨床研修プログラムへの参加を申請する海外の医学部出身者は、2023年以降は国際基準で評価・認定された医学部の出身者に限る」との通告が発出された¹⁾。これを機に、日本医学教育評価機構(JACME)が発足して医学教育の評価・認定制度が導入され、グローバル化への対応が加速化されることになった。

本稿では、ECFMG 通告後のわが国の対応、現在までの活動、国際基準からみたわが国医学部教育の課題、そして今後の展開について考察したい。

I. 日本医学教育評価機構発足の経緯

2010年の ECFMG 通告を受けて、国際基準で医学部教育を評価・認定する制度の確立が急がれた。

人種のルツボとも言われるアメリカには、ヨーロッパ、

アジア、アフリカ諸国などからさまざまな人種が移住している。このため、アメリカで活躍している医師は、さまざまな学歴や経歴を持つ。この多様性は互いの競争を煽り、現代のアメリカの医学・医療が名実共に世界一と称される所以にもつながっている。かつて世界一を自負していたドイツですら、アメリカの医学・医療を見倣うほどになっている²⁾。

アメリカで医師になることを希望する海外医学部出身者は少なくない。海外医学部出身者は、アメリカ医師国家試験 (United States Medical Licensing Examination: USMLE) に合格し、臨床研修プログラムへの参加を ECFMG に申請して許可を得ていた。しかし、医学部教育年限、教育内容、免許制度などは各国によって多彩であり、単に国家試験としての USMLE に合格することだけを要件にしては、アメリカ国民からの医師としての適性に信頼が得られない。むしろ、国際基準に基づいて教育の質が保証された医学部で教育を受けて、学修成果を確実に達成した卒業生を受け入れることこそが重要であろう。こんな考えから、ECFMG が2010年に全世界に向けて通告した¹⁾。

ECFMG 通告は、わが国の医学教育関係者にとって

は大きな衝撃となり、いわゆる「2023年問題」として対応が急がれた^{3,4)}。

2011年には全国医学部長病院長会議に「医学教育質保証検討委員会」が設置され、さらに、2012～2016年度の文部科学省大学改革推進事業によって医学教育評価の制度設計が行われ、評価基準、評価法、認定法、評価員研修制度などが策定された。そして、2015年12月1日に日本医学教育評価機構（Japan Accreditation Council for Medical Education: JACME）が発足し、医学教育評価が開始された（図1）。

JACMEは、2017年3月に世界医学教育連盟（World Federation for Medical Education: WFME）から国際的評価機関として認定された。この結果、JACMEが評価して認定する医学部は国際水準の医学教育を行っているとして判定されることになり、ECFMG 通告に適合することとなった。

II. 日本医学教育評価機構による医学教育評価事業

JACMEの組織は、全会員が参加する総会のもと、理事会、部会、事務局、委員会から構成され、監

事による監査を受けている⁵⁾。さらに、自己点検・評価を行う目的で内部質保証委員会がある。

評価事業は、総合評価部会の下で、評価委員会、基準・要項委員会、研修委員会、異議審査委員会によって運営される。各医学部の評価は、評価員7名程度から構成される評価チームが、受審医学部が作成する自己点検評価報告書の書面調査と実地調査を行って実施される。評価チームは評価報告書（原案）を作成し、評価委員会での審議の後、その内容に異議がある場合には、異議審査委員会で審議した上で総合評価部会、理事会の議を経て評価報告書（最終版）の作成と認定が行われる。

III. 医学教育評価の進捗

JACMEによる医学教育評価は、WFMEによるグローバルスタンダードに準拠した日本版基準を用いて行われている^{6,7)}。

評価基準は領域1～9に分かれ、医学部の教育プログラム全体を網羅的に評価する（図2）。すなわち、各医学部の使命と学生が修得すべき学修成果（アウトカム）に基づき（領域1）、それらを達成するための教育プログラムの構築（領域2）が、まず評価の基準

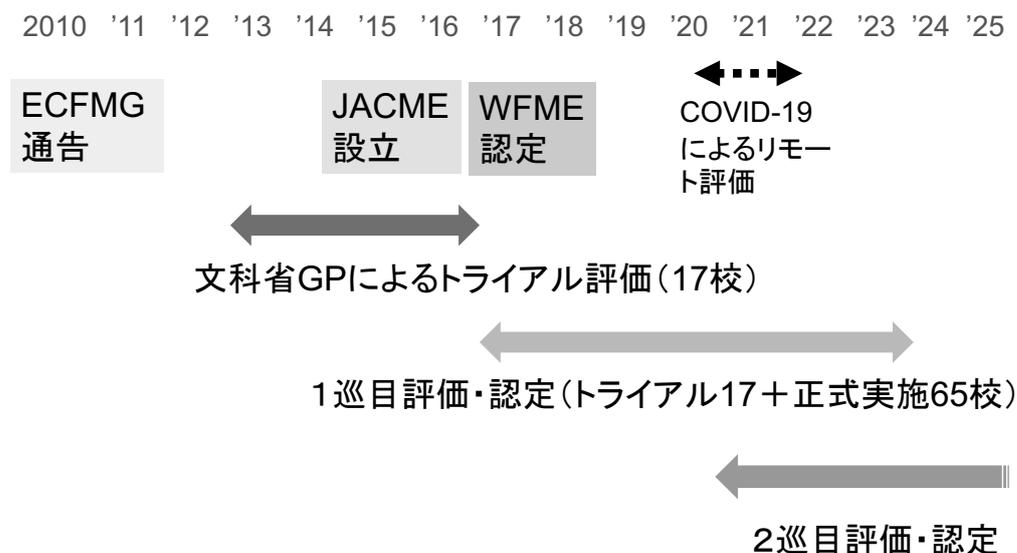


図1 日本医学教育評価機構による医学教育評価の経緯



となっている。さらに、学生の学修成果の到達度評価（領域3）、学生の学修支援（領域4）、教員の適切な配置（領域5）、教育資源の確保（領域6）、教育プログラム評価（領域7）、教学に関わる統轄と管理運営（領域8）についての評価基準が定められている。そして領域9は、医学教育の継続的改良が評価基準になっている。

各領域には下位領域が定められ、下位領域毎に評価基準が設定されている。評価基準には、世界中のすべての医学部が達成しておくべき基本的水準 106 項目と、医学教育の質向上のために達成が望まれる質的向上のための水準 90 項目が設定されている。

医学教育評価の受審にあたっては、受審医学部は評価基準すべてについて自己点検し、自己評価する。これは内部質保証に相当する。さらに改善を進めるためには第三者による評価が求められ、受審医学部が作成する自己点検評価報告書を JACME 評価員が精査し、さらに実地調査でその内容を確認する。そして評価チーム、さらに評価委員会で受審医学部の教育プログラムに対する評価が評価報告書としてまとめられる。自己点検評価報告書と評価報告書は、評価・認定が確定された後にウェブページ等で公開

され、社会的説明責任が果たされることとなる。

((1) 終わり、(2) に続く)

文 献

- 1) ECFMG.ECFMG to Require Medical School Accreditation for International Medical School Graduates Seeking Certification Beginning in 2023. <https://www.ecfmg.org/forms/9212010.press.release.pdf>. (引用日2024年7月29日)
- 2) Chenot, J-F. Undergraduate medical education in Germany. *German Medical Science*.2009; 7: 1-11.
- 3) 奈良 信雄. 医学教育分野別評価のインパクトと今後の課題. *医学教育*.2021;52(5) : 411-420.
- 4) 奈良 信雄. 日本医学教育評価機構設立の経緯と展開. *大学改革・学位研究*.2023;24: 1-12.
- 5) 一般社団法人日本医学教育評価機構. <https://www.jacme.or.jp/> (引用日2024年7月29日)
- 6) WFME Standards for Basic Medical Education 2015. https://wfme.org/wp-content/uploads/2015/01/BME_2015_v2.pdf. (引用日2024年7月29日)
- 7) 医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.36 世界医学教育連盟(WFME)グローバルスタンダード2015年版準拠. https://www.jacme.or.jp/pdf/wfme-jp_ver2.36.pdf. (引用日2024年7月29日)

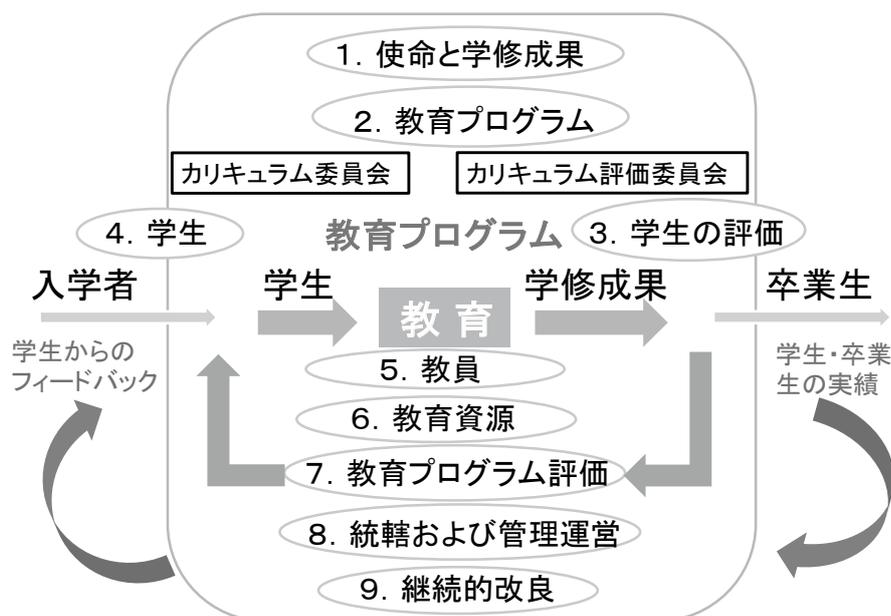


図2 医学部における教育と評価